

つながり

大上好久

令和4年11月15日発行

Tel:29-5210 Fax:21-3456



藤河小学校

小学校の社会科が 地域の伝統や文化を 未来につなぐ！！

文部科学省は、「小学校学習指導要領」の中に、「伝統や文化に関する教育」について育成したい資質・能力を明記しています。第4学年の社会科では、『県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること』『歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、…人々の願いや努力を考え、表現すること』となっています。

本号では、関戸奴(せきど やっこ)保存会の方々と学校(学級担任が中心)の橋渡しを学校運営協議会委員が精力的に行い、思いを一つにして実施した藤河小学校の授業実践を紹介します。

思いや活動の流れ

- ① 地域の伝統や文化を知りたいと発案【学級担任(4年)】
- ② 学校運営協議会委員に相談【校長・学級担任】
- ③ 保存会への連絡や調整【学校運営協議会 会長】
- ④ 当日の活動の打ち合わせ【校長・学級担任・会長・保存会】
- ⑤ 活動実施【学級担任・会長・保存会】
- ⑥ 奴道中を「ふじかわ発表会」で是非したい【子供から】

本物に触れられて嬉しいな。



江戸時代から伝わっているとは、すごいなあ。

・良いものは、次の世代に伝えていきたい。
・皆さんに力を貸してほしい。

・参勤交代の大名行列の名残をくむもので、関戸が守り続けてきたものだからだよ。

奴道中については分かったけど、どうしてやろうと思われたのですか。

・今年度岩国に赴任してきた担任の私も含めて、地域の伝統や文化を知らない子が多くいました。
・地域の一員として、自分たちの地域について、自分の言葉で話してほしいと願い授業づくりをしました。

・直接地域の方の言葉で、地域のことを伝えていただくことに大きな意味があります。
・子供が自分の言葉で家族に話すことが、世代をつなぎ、地域を愛する気持ちにもつながると思います。
・今回は、保存会のメンバーとして一人の保護者が参加、次回からは、より多くの保護者に呼びかけたいと思います。

片山 なるみ 校長

・学びの中心に子供をすえ、体験的な活動から知的好奇心を育て、「発表会で、地域の伝統や文化をみんなに知らせたい」という主体的な学びに発展させています。
・地域の皆さんの『伝統を守りたい』という思いが膨らみ、つながりも広がり、地域活性化にもつながっています。



藤河小学校コミュニティ・スクールだより
いちよの木のうしろ
令和4年9月

地域のことを学ぶ機会を大切に！

8月号でもお知らせしたとおり、2学期は、地域の方々から多くのことを学ばせていただいたり、地域の方々と一緒に学んだりする機会がたくさんあります。子どもたちにとって地域の方々から直接お聞きするお話は、勉強について、興味を深め、考えを深め、育ちにつながります。また、地域について知ることが地域を好きになっていくことにもつながると考えています。そこで、2学期にたくさん予定されている、地域の方々との学習の機会を大切にしていきたいと思っております。

藤河地域の水害や防災について学びました。

9月15日には、4年生が社会科の授業で、吉岡さんから、藤河地域に過去に起こった水害やこれから考えていかなければいけない防災について教えていただきました。藤河地域に過去に起こった水害について、写真を見せていただいたときは、みんな驚いていました。自分たちがいつも暮らしている地域に水が押し寄せ、いつもと違う光景を目にし、考えることも多かったようです。

藤河地域の伝統文化についても学びます。

つなごりの大切さを伝える
「コミュニティ・スクールだより」